



意地の逆転劇 湯澤、熊谷で舞う！

駒澤大学 2-1 平成国際大学

逆転ゴールの湯澤をたたえる選手
(撮影：猪熊脩登)

9月22日 11:30 熊谷スポーツ文化公園陸上競技場

駒大 2 (0-0) 1 平国大
(2-1)

得点者 (アシスト)

[駒]84分 奥村(宮城) [平]74分 千葉(本田)
[駒]87分 湯澤

KOMAZAWA	HEISEIKOKUSAI
GK①大石健太(3)	GK②荒川徹也(2)
DF④大木 暁(2)	DF④渡辺俊樹(4)
DF②友廣壮希(3)	(87分)⑤増田聖樹(2)
DF⑬平尾優頼(2)	DF②鎌田秀平(1)
DF③田中雄一(3)	DF②須藤貴郁(3)
MF⑥若山瞭太(3)	DF⑦山口 俊(4)
MF③碓井鉄平(3)	(60分)④柏俣翔也(2)
MF⑪小牧成亘(2)	MF⑥萩原健太(4)
(64分)⑩宮城雅史(4)	MF⑬本田圭佑(3)
MF⑩湯澤洋介(4)	MF①千葉真史(2)
(88分)⑨睦地健太(3)	MF⑧義村康祐(4)
MF⑦奥村 情(4)	(89分)⑩堀越龍也(2)
FW⑨山本大貴(3)	FW⑤結城光弘(4)
S U B	FW⑬星子直哉(1)
GK②檜山昇吾(3)	S U B
DF⑤柳川剛輝(1)	GK①小池和樹(2)
DF②立石忠之(1)	DF③石塚隼人(4)
MF⑭中村 駿(1)	MF②鈴木俊臣(2)
FW④真野直紀(4)	MF⑨横瀬雄也(2)
MANAGER 秋田浩一	MANAGER 西川誠太

[シュート]5:5 [GK]6:7 [CK] 9:4 [直接FK]8:24
[間接FK]2:9 [主審]加藤正和 [観衆]170人

警告(C) / 退場(S)

[駒]39分 田中雄一(C) [平]49分 山口 俊(C)
[駒]79分 湯澤洋介(C) [平]90+2分 柏俣翔也(C)
[駒]85分 若山瞭太(C)

※データの左側が駒大

劇的湯澤弾で後期初勝利

試合を決めたのはこの日「慣れてない」キャプテンを務めた湯澤だった。カウンターからドリブルでゴール前まで運ぶと迷わず右足を振り抜く。ボールはゴール左隅に突き刺さり、頼れるエースの得点で駒大は後期初の勝ち点3を手にした。

前節の垂大戦で5失点と守備に不安を残した上に三澤が退場処分による出場停止と、戦前から苦しい展開が予想された。だが、三澤の出場停止で巡ってきた出番に友廣が応える。勇気を持ってラインを上げ、パスを回してくる相手にコンパクトさを保つと自身も「積極的に前へ」出たは幾度となくボールをカットした。

守備が安定すれば攻撃にも良い影響を与える。サイドから湯澤らがドリブルで何度も侵入し、平国大ゴールに迫った。得点こそ入らなかったが後半に入ってもペースを握ったのは駒大だった。しかし、暑さからか足が止まり始めるとボールを奪いに行けなくなってしまった。すると74分、クリアボールを拾われ、右サイドへ展開されるとフリーで千葉にゴールを奪われる。悪い流れの中先制され嫌な空気が漂ったが、ここか

ら「動きがよくなった」(湯澤)駒大が攻勢に出る。84分、碓井のクロスを途中出場の宮城が落とすと奥村が体ごと押し込み同点とする。そして圧巻だったのは直後の87分。前がかりに攻めてくる相手から中盤でボールを奪うと一気にカウンター。ペナルティエリア手前まで湯澤がドリブルで侵入するとパスという選択肢もあった中、「そこはエゴを出した」と語ったように豪快なシュートで逆転してみせた。

前節不甲斐ない敗戦を喫し、この日も負けていたらチームが空中分解してしまう可能性は少なくなっただけにこの逆転勝利は大きい。また、それだけではなく「1点取られて15分くらいはよかった」(秋田浩一監督)と手ごたえを掴むこともできた。この手ごたえをいかに試合で長い時間出していけるかが昇格へ向けて重要になってくるだろう。

次節は前期リーグでは引き分けた青学大との対戦。そのときは中盤を完全に制圧されてしまい失点を重ねたが、今節のようなコンパクトな守備が出来れば問題ないはずだ。次も駒大らしく勝利することを期待したい。

(猪熊脩登)